

American DJ®

ACCU SCAN

250

取扱説明書 Ver1.04



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ の AccuScan250 をご購入いただき誠にありがとうございます。
AccuScan250 は DMX 規格に対応した 250W のミラースキャンです。3つの操作モードを中心とし、内蔵プログラムを効果的に使用することにより空間を華やかに彩ることが可能です。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

基本仕様

- マイクロステップ・モーターによるスムーズなカラー/ゴボの動作
- DMX-512 に対応 (8 つの DMX チャンネルを使用)
- ゴボホイールとカラーホイールをそれぞれ搭載
- 7 つの回転ゴボ (シェーク機能付き、全て取替え可能)
- 9 カラー + 白 (レインボー効果可能)
- 3 操作モード (マスター/スレーブ、スタンドアローン、サウンドアクティブ)
- 本体にマイクを内蔵
- 手動フォーカスレンズ
- スピード可変式ストロボ機能 (1-12fps)
- シーンの編集、本体メモリーへの保存が可能
- 360° パン操作可能
- 265° チルト操作可能
- アドレス/機能設定をデジタルディスプレイに表示
- MSD250/2 ディスチャージランプ
- ブラックアウト機能用 Mini/C 入力端子を搭載 (Mini/C コントローラーはオプション)

ディスチャージ・ランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージ・ランプは非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意ください。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手を触れた場合はやわらかい布で電球の表面をふき取って下さい。また、衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意ください。

ディスチャージ・ランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の輝度は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断する為に特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないで下さい。

注: ディスチャージ・ランプを直接見ることは絶対に避けて下さい。

本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止め下さい。

ランプや電源を OFF にした後、5 分間は電源を入れないようにして下さい。

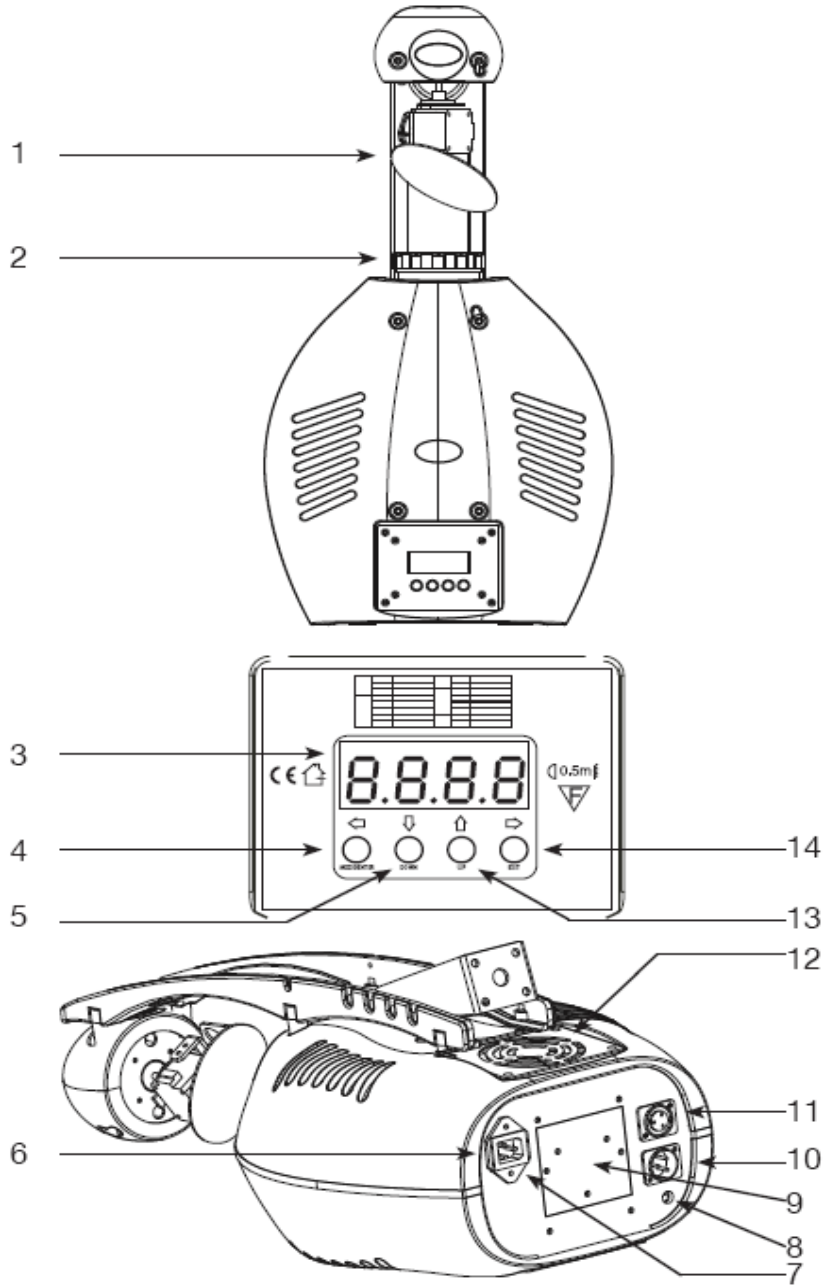
電球の寿命が短くなるため、再度使用する場合は 5 分以上間隔をおき、本体を冷ましてから電源を入れ、使用して下さい。

照度を保つ為に、ディスチャージ・ランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。その為長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加し、更なる注意が必要になります。ガスを使用したディスチャージ・ランプが取り付けられている製品を使用する際にはくれぐれもご注意ください。また、使用中に本体のカバーを開くことは危険ですのでお止め下さい。

安全上の注意

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしない様ご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止め下さい。
- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。
- 本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行って下さい。
- メンテナンス時以外で本体のカバーを外さないで下さい。
- 本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。
- 本製品をディマーパックに接続しないで下さい。
- 必ず風通しの良い、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用を止めて下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。
- 本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。

基本機能と操作



1. ミラー

ビームがより効率よく出力されるように特別にデザインされた反射用ミラーです。

2. レンズアセンブリ

手動によるフォーカス可能な高品質レンズを搭載しています。

3. デジタルディスプレイ

メニューと操作機能を表示します。

4. MODE/ESC ボタン

システムメニュー上の設定の決定を行います。

5. DOWN ボタン

システムメニュー上の表示を反対回りにスクロールします。

6. ヒューズホルダー

8A ヒューズを装填することが可能です。ヒューズは電源の激しい変動が起きた場合に本体の内部回路を保護するようにデザインされています。ヒューズが過入力電源等により切れた場合は、速やかに同等のヒューズと交換して下さい。

7. 電源入力端子

電源ケーブルを接続して本体に電源を供給します。必ず本体に付属する電源ケーブルを使用して下さい。アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。

8. Mini/C コントローラー入力端子

オプションの Mini/C コントローラーを接続して使用します。Mini/C コントローラーによって本体のブラックアウト機能を調節することが可能になります。尚、PC ボードが破損する恐れがありますので音声信号を Mini/C コントローラー入力端子に接続することは止めてください。接続間違いによる故障は保証対象外になりますので予めご了承ください。

9. 電球アセンブリ/アクセスプレート

電球アセンブリにアクセスする際に使用します。AccuScan250 は MSD250/2 ディスチャージ・ランプを搭載しています。ディスチャージ・ランプを交換する際は必ず同じランプと取替えて下さい。電球交換後、電球が反射板の真中に位置していることを確認して下さい。

10. XLR DMX 入力端子

DMX 信号、又はマスター/スレーブ信号を受信します。

11. XLR DMX 出力端子

XLR 入力端子から受信した DMX 信号を外部 DMX 機器に出力したり、マスター/スレーブ信号をもう 1 台の AccuScan250 に接続する為に使用します。DMX モード、又はマスター/スレーブモード時に直列接続された最後のユニットにターミネーターを接続すると、接続された全てのユニットが安定します。

12. 冷却ファン

AccuScan250 は 3 段階可変スピード冷却ファンを搭載しています。効率よく本体内部を冷却する為に、冷却ファンは塞がないで下さい。

13. UP ボタン

システムメニュー上の表示をスクロールします。

14. ENTER ボタン

メニューを終了する際に使用します。

基本設定

電源

AccuScan250 は定格電圧 AC100V、50/60Hz で使用して下さい。電源ケーブルをコンセントに接続する前に電源容量を確認して下さい。

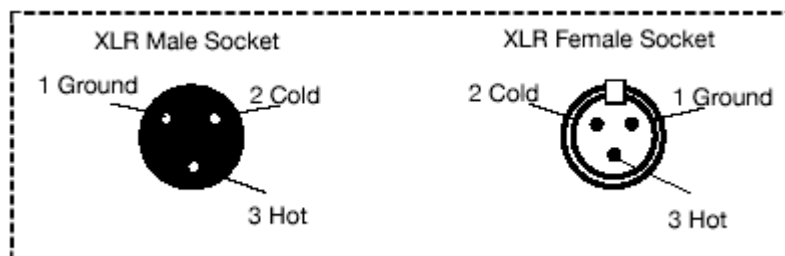
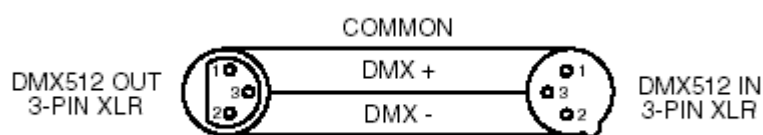
DMX-512

DMX とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX ケーブル

AccuScan250 は 8 チャンネル DMX ユニットです。DMX アドレスは本体の底面で設定して下さい。DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用していきます。また、DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。

DMX ケーブルを作る際、以下の図を参照して下さい。



5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを AccuScan250 に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

システムメニュー

ADDR	A001 – A511			DMX スタートアドレスを表示
TEST	T-01 – T-xx			テスト機能
AUDI	MSTR			オーディオ機能のマスターに設定
	ALON			オーディオ機能のスタンドアロンに設定
RESE	ALL	ON/OFF		全モーターをリセットし、デフォルトに設定
	SCAN	ON/OFF		パン/チルト用モーターをリセット
	COLR	ON/OFF		カラー用モーターをリセット
	GOBO	ON/OFF		ゴボ/ローテーション用モーターをリセット
	SHTR	ON/OFF		シャッター用モーターをリセット
TIME	LIFE	0000 – 9999		灯体の総動作時間を表示
	LAMP	0000 – 9999		電球動作時間を表示
	CLMP	ON/OFF		電球動作時間をリセット
RPAN	ON/OFF			パン動作方向を反転
RTL	ON/OFF			チルト動作方向を反転
DISP	VALU	D-xx D-00 (Dxxx)		各チャンネルの DMX 値を表示
	D ON	ON/OFF		ディスプレイのオン/オフ切替え
	FLIP	ON/OFF		ディスプレイの表示を 180° 反転
SPEC	SPOT	ON/OFF		電球の微調整
	DFSE	ON/OFF		灯体の全機能をデフォルトに設定
	VER	V1.0 – V9.9		ソフトウェアバージョンを表示
EDIT	RUN	ON/OFF		任意のプログラムを動作
	STEP	S-01 – S-48		プログラムのステップ数を設定
	SCXX	SC01 – SC30		シーン数を設定
		C-01 – C-08	01 – 08xx (00 – FFH)	灯体の DMX チャンネル
		TIME	T-xx (01 – FFH)	シーンの時間
		CEDT	ON/OFF	外部コントローラーによる編集

ADDRESS メニュー

ADDR - AS11

(DMX 値) 本体の DMX アドレスを設定します。

TEST メニュー

T-01 - T-XX

(テスト)

テスト機能として 1、2、3、4、6 番が使用可能です

AUDI メニュー

MAST

(マスター) サウンドアクティブモード時に本体がマスター機として動作します。

ALON

(スタンドアロン) サウンドアクティブモード時に本体がスタンドアロン機として動作します。

RESE メニュー

ALL

全てのモーターをリセットします。

SCAN

パン/チルト用モーターをリセットします。

COLR

カラー用モーターをリセットします。

GOBO

ゴボ用モーターをリセットします。

SHTR

シャッター用モーターをリセットします。

TIME メニュー

LIFE

灯体の総動作時間を表示します。

LAMP

電球の動作時間を表示します。

CLMP

電球の動作時間表示を削除します。

RPAN メニュー

ON/OFF

オン選択時にパンが反対方向に動作します。

RTILT メニュー

ON/OFF

オン選択時にチルトが反対方向に動作します。

DISPLAY メニュー

VALU

各 DMX チャンネルの DMX-512 値を表示します。

D ON

デジタルディスプレイのオン/オフを切替えます。

FLIP

デジタルディスプレイを 180° 反転させ表示します。

SPEC メニュー

SPOT	電球の微調整を行う為にスポットビームが出力されます。
REST	本体をデフォルト設定に戻します。
VER	ソフトウェアのバージョンを表示します。

EDIT メニュー

RUN	カスタムプログラムを動作させます。
STEP	プログラムを作成することが可能な 48 のスロットを選択します。
SCXX	プログラムを保存することが可能な 30 のシーンを選択します。
C-01 - C-08	編集を行うシーンの各チャンネルを選択します。
TIME	プログラムの長さを時間で表示します。
CEOT	外部コントローラーを使用してプログラムを編集します。

システムメニュー

AccuScan250 は操作が簡単に行えるように本体にシステムメニューを内蔵しています。

MODE/ESC ボタン

メインメニューに入るには本体側面に位置する MODE/ESC ボタンを使用します。システムメニューに入るには MODE/ESC ボタンを 3 秒程押しして下さい。UP ボタンを使って変更したい機能を表示させ、MODE/ESC ボタンで選択します。編集する機能を選択するとメニューが点滅します。UP ボタンを使って機能に変更を加えます。変更を決定する際は再度 MODE/ESC ボタンを押しして下さい。変更を加えずに終了する際は EXIT ボタンを押しして下さい。

ADDR メインメニュー

ADDR:DMX アドレスの設定を行います。

1. メインメニューにアクセスして下さい。
2. UP ボタンを使って“ADDR”を表示させ、ENTER を押しして下さい。
3. ディスプレイに“A001”と表示されるので、UP/DOWN ボタンを使って DMX アドレスを設定して下さい。
4. MODE/ESC を押し決定して下さい。
5. メインメニューに戻る際は EXIT を押しして下さい。

TEST メインメニュー

TEST: 各チャンネルの機能を検証します。

1. メインメニューにアクセスして下さい。
2. UP ボタンを使って“TEST”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“T-01”と表示されるので、UP ボタンを使って他のチャンネルを検証して下さい。
例えば、UP ボタンを使って“T-03”を表示させると本体はカラーチャンネルの検証を開始し、全カラーを異なるスピードで出力します。この時、8つあるチャンネルのチャンネル1、2、3、4、6のみ検証可能です。
4. ENTER を押して決定して下さい。
5. メインメニューに戻る際は MODE/ESC を押して下さい。

AUDI メインメニュー

MSTR: マスター/スレーブモード上で本体をマスター機に設定します。

1. メインメニューにアクセスして下さい。
2. UP ボタンを使って“AUDI”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“MSTR”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. メインメニューに戻る際は MODE/ESC を押して下さい。

ALON: 本体をスタンドアローン機に設定します。

1. メインメニューにアクセスして下さい。
2. UP ボタンを使って“MODE”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“ALON”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. メインメニューに戻る際は MODE/ESC を押して下さい。

RESE メインメニュー

ALL: ALL リセット機能をオンに切替えると全てのモーター動作がリセットされます。

1. メインメニューにアクセスして下さい。
2. UP ボタンを使って“RESE”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“ALL”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されるので、UP ボタンを使って“ON”を選択し、カラー用モーターをリセットして下さい。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. メインメニューに戻る際は MODE/ESC を押して下さい。

SCAN: SCAN リセット機能をオンに切替えるとパン/チルト用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“SCAN”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとパン/チルト用モーターの動作がリセットされます。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

COLR: COLR リセット機能をオンに切替えるとカラーホイール用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“COLR”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとカラーホイール用モーターの動作がリセットされます。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

GOBO: GOBO リセット機能をオンに切替えるとゴボホイール用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“GOBO”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとゴボホイール用モーターの動作がリセットされます。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

SHTR: SHTR リセット機能をオンに切替えるとシャッター用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“SHTR”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとシャッター用モーターの動作がリセットされます。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

TIME メインメニュー

LIFE: 灯体の総動作時間を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“TIME”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LIFE”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。灯体の総動作時間が表示されます。
4. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

LAMP: 電球の総動作時間を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“TIME”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LAMP”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。電球の総動作時間が表示されます。
4. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

CLMP: 電球の総動作時間をリセットします。電球を交換する度にこの機能をお使い下さい。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“TIME”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“CLMP”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
5. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

RPAN メインメニュー

RPAN: パンが逆方向に動作します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RPAN”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

RTLTL メインメニュー

RTLTL:チルトが逆方向に動作します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RTLTL”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

DISP メインメニュー

VALU:各チャンネルの DMX 値を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“VALU”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. D-01 が表示されます。
4. ENTER を押すと、1ch の DMX 値が表示されます。
5. D-08 まで確認することが可能です。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

D ON:デジタルディスプレイのオン/オフを切り替えます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“D ON”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

FLIP:デジタルディスプレイを 180° 反転させます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“DISP”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって表記が反転します。
5. ENTER を押して決定して下さい。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

SPEC メインメニュー

SPOT: コントロールボードから電球を微調整することが可能です。シャッターが開き、電球を調節することができます。また本体がこのモードに設定されている時、他のコントロール信号には反応しません。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って SPEC をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って SPOT をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
5. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作します。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

DFSE: 本体を工場出荷時の設定に戻します。全ての設定はデフォルト値に戻り、全てのシーンは消去されます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“SPEC”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“DFSE”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
5. UP ボタンによって“ON”を選択すると工場出荷時の設定にすることが出来ます。
6. ENTER を押して決定して下さい。
7. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻して下さい。

VER: 本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“SPEC”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“VER”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“V-1.0”、または“V-2.0”や“V-9.9”等と表示されます。
5. ENTER 又は MODE/ESC を押してメインメニューに戻して下さい。

EDIT メインメニュー

EDIT: コントロールパネル、又は外部コントローラーを使用して、本体メモリー (EEPROM) にプログラムを保存することが可能です。

RUN: 保存したプログラムを動作させることが可能です。STEP (S-01-S-48) によってステップの数を設定することが可能です。また EDIT によって各シーンを編集することができます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“RUN”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ON を選択し ENTER でモードを決定して下さい。
5. プログラムが動作します。
6. MODE/ESC を押してメインメニューに戻して下さい。

STEP: ステップ数を各プログラムから設定することが可能です。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“STEP”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
4. ディスプレイに“S-01”と表示されます。これはプログラムに保存されたステップナンバーを表し、“RUN”には最大 48 のシーンを呼び出すことが可能です。例えば“S-05”が表示されている場合、“RUN”は“EDIT”で保存された最初の 5 シーンを動作させます。
5. ENTER を押して保存して下さい。

SC01: プログラム上のシーンの数を選択することができます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“SC01”をディスプレイに表示させて下さい。
4. ディスプレイに“SC01”と表示されます。これはプログラムに保存されたシーンナンバーを表し、最大 30 のシーンを呼び出すことが可能です。例えば“SC05”が表示されている場合、“RUN”は“EDIT”で保存された最初の 5 シーンを動作させます。
5. ENTER を押して保存して下さい。

編集手順 1(コントロールボード使用時のみ)

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“SC01”と表示されます。これはプログラムに保存されたシーンナンバーを表し、シーン 01 に編集を加えることを意味します。UP ボタンでシーンナンバーを選択し、ENTER で決定して下さい。
4. ディスプレイにチャンネルナンバーが“C-1”と表示され、選択されたシーンのチャンネル 1 を編集することが可能になります。UP ボタンでチャンネルナンバーを選択し、ENTER で決定して下さい。
5. ディスプレイに編集しているチャンネルの DMX 値が“11XX”のように表示されます。これはチャンネル 11 の DMX 値が“XX”であることを示します。
6. UP ボタンで DMX 値を選択して下さい。
7. MODE/ESC で他のチャンネルの設定を入力して下さい。
8. 5-7 を繰り返し他のチャンネルの DMX 値を設定して下さい。尚、各シーンには最大 15 チャンネル設定することが可能です。
9. 全てのチャンネルが設定されるとディスプレイに“TIME”と表示され、シーンを動作させる為に必要な時間を意味します。
10. ENTER を押して時間の設定を行います。ディスプレイに“T-XX”と表示され、“XX”に 3 を掛けた数値がシーンを動作する時間になります。例えば“T-02”は 6 秒、また“T-15”は 45 秒を意味します。
11. UP ボタンを使用して時間を設定して下さい。
12. ENTER を押してシーンの設定を保存して下さい。ディスプレイが自動的に次のシーンを表示します。
13. 3-12 を繰り返し、他のシーンを編集して下さい。最大 48 シーンを保存することが可能です。
14. MODE/ESC を押してメインメニューに戻ります。

編集手順 1(外部コントローラー使用時)

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
3. ディスプレイに“SC01”と表示されます。これはプログラムに保存されたシーンナンバーを表し、シーン 01 に編集を加えることを意味します。
4. UP ボタンでシーンナンバーを選択して下さい。
5. ENTER を押して下さい。ディスプレイにチャンネル 1 を意味する“C-01”が表示されます。
6. コントローラー上で1つ目のシーンを設定して下さい。
7. UP ボタンを使って“CEDT”をディスプレイに表示させ、ENTER を押して下さい。
8. ディスプレイに“OFF”と表示されます。UP ボタンで“ON”を選択して ENTER を押して下さい。
9. UP ボタンを使用して Step Time を調節して下さい。
10. コントローラー上で 2 つ目のシーンを選択して下さい。
11. 必要な全てのシーンがダウンロードされるまで 3-10 を繰り返して下さい。
12. MODE/ESC を押してメインメニューに戻ります。尚、“STEP”でステップ数を決定することが可能です。

基本操作

スタンドアローン・モード

音楽に合わせてユニット単体が動作します。スタンドアローン・モードでは AccuScan250 を単体で、又はリンクさせた複数台を動作させることが可能です。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“AUDI”を表示させ、ENTER を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“ALON”を表示させ、ENTER を押して下さい。
4. SO-A と表示されます。
5. ENTER を押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。
6. AccuScan250 は本体に搭載されたマイクにより音声信号の低周波数帯域に反応します。

マスター/スレーブモード(サウンドアクティブ)

最大 16 台の AccuScan250 をリンクさせ、コントローラー無しで操作することが可能です。リンクされた全てのユニットは音に反応して動作します。またマスター/スレーブモードでは 1 台がマスターになり、残りのユニットはスレーブとして動作します。

1. 3ピン XLR 仕様の DMX ケーブルを使用して、複数の AccuScan250 を直列接続して下さい。接続台数が多く、ケーブルの長さが長くなる場合はターミネーターを最後のユニットに接続することをお勧めします。
2. UP ボタンを押してディスプレイに“AUDI”と表示させ、ENTER で決定して下さい。
3. SO-n が表示され、ENTER で決定して下さい。
4. MODE/ESC を押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。

DMX コントロールモード

DMX-512 コントローラーを使用してミラー・ムーブメント、カラーホイール、ゴボホイール、シャッターを操作することが可能です。DMX コントローラーを使用することにより用途にあった設定をすることが可能です。

1. AccuScan250 は 8 つの DMX チャンネルを使用可能です。8 チャンネルそれぞれの機能は以下を参照下さい。
チャンネル 1:パン
チャンネル 2:チルト
チャンネル 3:カラー
チャンネル 4:ゴボホイール
チャンネル 5:ゴボの回転
チャンネル 6:シャッター/ストロボ
チャンネル 7:内部プログラムへのアクセス
チャンネル 8:パン/チルトのスピード
2. 灯体を DMX モードで操作する場合、本取扱説明書の基本設定セクションを参照して下さい。
3. コントローラーのフェーダーを使って灯体の数々の機能を操作して下さい。
4. これによりユーザープログラムを設定することが可能です。
5. 本取扱説明書のシステムメニューセクションを参照し DMX アドレスを設定して下さい。
6. DMX 機器間の接続ケーブルが 30m 以上になる場合、最後の灯体にターミネーターを取付けることをお勧めします。
7. DMX モードの操作に関しては DMX コントローラーの取扱説明書を参照して下さい。

電球交換

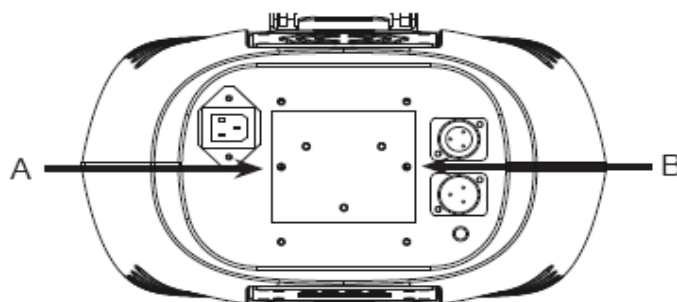
電球を交換する際は必ず同じ型の電球と取替えて下さい。決められたパーツ以外と交換した場合、保証対象外となりますので予めご了承下さい。

注：電球やヒューズが立て続けに飛ぶ場合は、ユニットの使用を停止し、販売店、又は輸入代理店までご連絡下さい。

電球交換

本体に電源が入った状態で電球交換することは非常に危険ですのでやめて下さい。電球を交換する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外し、本体内部が冷めるまでしばらくお待ち下さい。

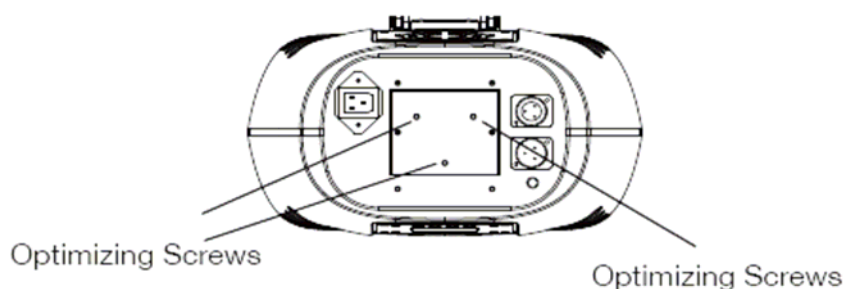
1. 本体の背面にある2つのネジ(下図 A、B)を外して下さい。
2. 電球ソケットをスライドして下さい。
3. 古い電球を取り外し、新しい電球と交換して下さい。
4. 電球ソケットを元に戻し、ネジを締めて下さい。



電球の調整

以下の方法により電球を反射板の真中に調整します。正しく調整された電球は照度も良く、寿命も保てます。

1. 電球の調整を始める前に本体の電源ケーブルをコンセントから外し、内部パーツが冷めるまでしばらくお待ち下さい。
2. 3つの電球調整用ネジを時計回りに完全に回し、それぞれ3回転戻して下さい。
3. ユニットに電源を入れて下さい。
4. DMX コントローラー、又はユニットのコントロールパネルを使い、平らな壁などにライトを照らして下さい。
5. 3つの調整ネジを使って、“ホットスポット”(ライトの一番明るい部分)を中心に設定します。調節ネジは1つずつ調整して下さい。
6. “ホットスポット”が明るすぎる場合、3つの調整ネジを時計回りに回して下さい。また逆に中心が外側よりも暗い場合、電球が適切な位置よりも後ろに設置されています。調整ネジを使って調節して下さい。



ヒューズ交換

ユニットの電源ケーブルを本体から外して下さい。ヒューズホルダーをマイナスドライバー等で取り出し、ヒューズを交換して下さい。

DMX 表

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	PAN X 軸
2	0-255	TILT Y 軸
3	<u>0-199</u> 0-19 20-39 40-59 60-79 80-99 100-119 120-139 140-159 160-179 180-199 200-255	<u>カラー選択</u> ホワイト レッド ブルー グリーン イエロー マゼンタ アンバー パープル ピンク ライトブルー レインボーエフェクト高速→低速
4	0-13 14-27 28-41 42-55 56-69 70-83 84-97 98-115 116-135 136-155 156-175 176-195	<u>ゴボ(模様)</u> スポット ゴボ 2(メタル) ゴボ 3(メタル) ゴボ 4(ガラス) ゴボ 5(メタル) ゴボ 6(メタル) ゴボ 7(メタル) ゴボ 8(メタル) ゴボ 2(揺れ動作) ゴボ 3(揺れ動作) ゴボ 4(揺れ動作) ゴボ 5(揺れ動作)

4	196-215 216-235 236-255	ゴボ 6(揺れ動作) ゴボ 7(揺れ動作) ゴボ 8(揺れ動作)
5	0-7 8-127 128-135 136-255	<u>ゴボ回転</u> 停止 順回転(高速→低速) 停止 逆回転(低速→高速)
6	0-31 32-63 64-95 96-127 128-159 160-191 192-223 224-255	<u>シャッター/ストロボ</u> シャッター・クローズ シャッター(0-100%) ストロボ 低速→高速 シャッター・オープン パルス・エフェクト シャッター・オープン ランダム・ストロボ シャッター・オープン
7	0-19 20-39 40-79 80-84 85-87	<u>電球オン・オフ/リセット/プログラム</u> 標準カラー切替 任意カラー切替 機能なし 全モーターリセット スキャンモーターリセット

7	88-90	カラーモーターリセット
	91-93	ゴボモーターリセット
	94-96	シャッターモーターリセット
	97-99	機能なし
	100-119	内蔵プログラム 1
	120-139	内蔵プログラム 2
	140-159	内蔵プログラム 3
	160-179	内蔵プログラム 4
	180-199	内蔵プログラム 5
	200-219	内蔵プログラム 6
	220-239	内蔵プログラム 7
	240-255	サウンドアクティブ(音反応動作)
8		<u>PAN/TILT 動作スピード</u>
	0-225	高速→低速
	226-235	ブラックアウト(PAN/TILT 動作)
	236-245	ブラックアウト(ゴボ/カラー動作)
	246-255	機能なし

ゴボの交換

ゴボの交換にはプラスドライバーとマイナスドライバーが必要になります。

1. 電源ケーブルをコンセントから外して下さい。電源を切らずにカバーを開けることは大変危険です。お止め下さい。
2. プラスドライバーを使ってカバーを外して下さい。
3. ゴボのレンズ側にある固定リングをマイナスドライバーで外し、ゴボをピンセットなどでレンズ方向にゆっくり引っ張って下さい。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。＜期間＞内は目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコールなどでのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のレンズ ＜一週間に一度＞

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

カラーフィルター ＜一ヶ月に一度＞

■カラーフィルターが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。

ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様影ができません。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布して下さい。

ガラス・ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様影ができません。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布して下さい。

シャッター <一ヶ月に一度>

■シャッターの動作状況を確認する光学センサーに埃が付着すると、正常に動作しなくなる可能性があります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部レンズ <一ヶ月に一度>

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取ってください。

ファンおよび通気孔 <一週間に一度>

■ファンの動作不良、及び通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファン等に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ベース部分やヘッド部分のファン及び通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部各種センサー <一ヶ月に一度>

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認する為のセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

ミラースキャンのミラー <一週間に一度>

■ミラーに埃や汚れがつきますと、光が弱くなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で拭いた後、から拭きを行って下さい。

電球ソケット部分 <一ヶ月に一度>

■電球ソケット部分に埃や汚れがつきますと、ショート恐れ、電球が切れやすくなります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認下さい。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

電球 <一ヶ月に一度>

■電球が正しく装着されていないと、埃やゴミが入り、ショートや電球破損の恐れがあります。また、電球はガラス球内部の圧力が高いものがあります。落としたり、物をぶつかけたり、傷をつけると破損/破裂の原因となります。

→規定の電球か、口金が錆びていないか、ヒビ等破損箇所がないかご確認下さい。

故障だと思ったら

ライトが点灯しない

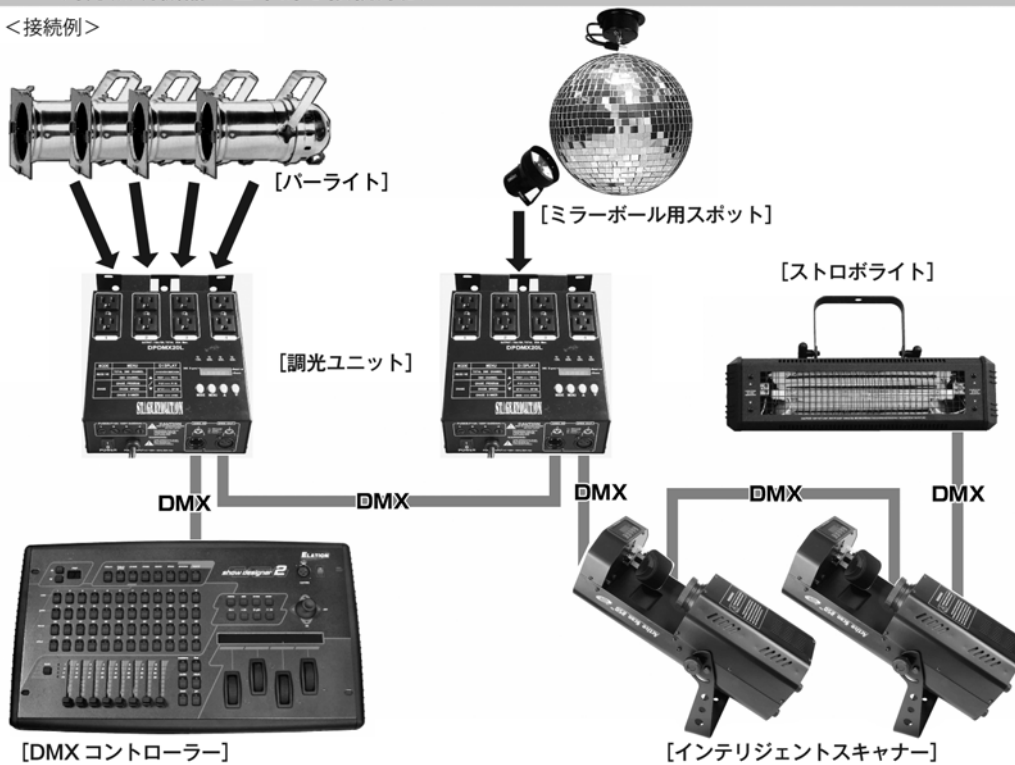
1. 電源ケーブルが定格電圧 AC100、50/60Hz のコンセントに接続しているか確認して下さい。
2. ヒューズが飛んでいないか確認して下さい。
3. 電球がソケットに正しく設置されているか確認して下さい。

製品仕様

使用電圧	: AC100V、50/60Hz
電球	: MSD250/2 250W/2000h
カラー	: 9 色 + 白
ゴボ	: 7 + スポット (全て交換可能)
ヒューズ	: 8A
DMX	: 8 チャンネル
その他	: サウンドアクティブ機能
サイズ	: 29.2(W) × 57.1(H) × 22.8(D)cm
重量	: 13.6Kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>


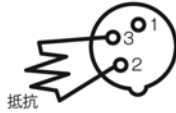


- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていますが、なるべく距離が長くない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※一長距離の配線について

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお勧め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

American DJ®